（参考様式）

特定事業所加算（Ⅰ）・（Ⅲ）に係る障害支援区分5以上の占める割合の算定方法（重度訪問介護用）

1年用

事業所名	
障害福祉サービス名	

報酬区分	特定事業所加算（Ⅰ）	特定事業所加算（Ⅲ）

※ いずれかを〇で囲む

利用者氏名（イニシャル）	障害支援区分			重度訪問介護実績（実施有無）												サービス提供時間数（延べ時間）												サービス提供実績合計
	区分4	区分5	区分6	1月目（4月）	2月目（5月）	3月目（6月）	4月目（7月）	5月目（8月）	6月目（9月）	7月目（10月）	8月目（11月）	9月目（12月）	10月目（1月）	11月目（2月）	12月目（3月）	1月目（4月）	2月目（5月）	3月目（6月）	4月目（7月）	5月目（8月）	6月目（9月）	7月目（10月）	8月目（11月）	9月目（12月）	10月目（1月）	11月目（2月）	12月目（3月）	

（参考様式）

特定事業所加算（Ⅰ）・（Ⅲ）に係る障害支援区分5以上の占める割合の算定方法（重度訪問介護用）

事業所名	
障害福祉サービス名	

3ヶ月用

報酬区分	特定事業所加算（Ⅰ）	特定事業所加算（Ⅲ）

※ いずれかを〇で囲む

利用者氏名（イニシャル）	障害支援区分			訪問実績(実施有無)			サービス提供時間数(延べ時間)			サービス提供実績合計
	区分4	**区分5**	**区分6**	1月目（　月）	2月目（　月）	3月目（　月）	1月目（　月）	2月目（　月）	3月目（　月）	
合計										

※1 「障害支援区分」「訪問実績（実施有無）」には、該当する欄に〇印を付すこと。

※2 「サービス提供時間数(延べ時間)」には、各月におけるサービス提供実績時間を入力（1時間単位であり、30分の場合は0.5とする。サービス提供実績報告書と同様の時間

※3 「訪問実績（実施有無）」及び「サービス提供時間数(延べ時間)」には、該当するサービスのみ計上すること（例：重度訪問介護を算定する場合において、居宅介護、行動援護、介護保険等の回数は含めない）

※4 「訪問実績（実施有無）」「サービス提供時間数(延べ時間)」の（　月）には、該当する月を入れる。なお、連続した3ヶ月間とすること。

① 実人数による算定を採用する場合

総訪問人数	1月目（　月）	2月目（　月）	3月目（　月）	合計	区分5以上の者	1月目（　月）	2月目（　月）	3月目（　月）	合計	区分5以上の割合
										#DIV/0!

※自動算定　　※入力すること。

② サービス提供時間数(延べ時間)による算定を採用する場合

サービス提供時間数	1月目（　月）	2月目（　月）	3月目（　月）	合計	区分5以上の者	1月目（　月）	2月目（　月）	3月目（　月）	合計	区分5以上の割合
										#DIV/0!

※自動算定　　※入力すること。

※1①又は②で算定した方法により、いずれかが区分5以上の割合が50%（重度訪問介護）を超えた場合に要件を満たすものであること。
※2特定の月の区分5以上の割合が50%（重度訪問介護）を下回ったとしても、3ヶ月の平均がこれを超えていれば要件を満たすものであること。
※3特定事業所加算適用後は、各月において割合を満たすか常時確認すること（要件を欠いた時点で加算の適用はない）

（参考様式）

特定事業所加算（Ⅰ）・（Ⅲ）に係る障害支援区分5以上の占める割合の算定方法（重度訪問介護用）

1年用

事業所名	○○訪問介護事業所
障害福祉サービス名	重度訪問介護

報酬区分	特定事業所加算（Ⅰ）	特定事業所加算（Ⅲ）

※ いずれかを○で囲む

サービス提供時間数であること（居宅介護のような訪問回数ではないことに注意）

区分5以上にカウントができる

区分5以上にカウントができる

利用者氏名（イニシャル）	障害程度区分			訪問実績(実施有無)												サービス提供時間数(延べ時間)												サービス提供実績合計
	区分4	区分5	区分6	1月目（4月）	2月目（5月）	3月目（6月）	4月目（7月）	5月目（8月）	6月目（9月）	7月目（10月）	8月目（11月）	9月目（12月）	10月目（1月）	11月目（2月）	12月目（3月）	1月目（4月）	2月目（5月）	3月目（6月）	4月目（7月）	5月目（8月）	6月目（9月）	7月目（10月）	8月目（11月）	9月目（12月）	10月目（1月）	11月目（2月）	12月目（3月）	
T.O	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	12	8	12	15	12	13	18	19	18	18	18	173
Y.T		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	25	23	28	28	23	28	24	25	28	20	22	298
K.O	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22		23	21	20	18	19	18	20	20	21	22	224
S.T		○			○	○	○	○	○	○	○						30	28	23	25	28	27	28					189
K.F	○			○	○	○	○	○	○	○						20	20	24	24	23	23	25						159
K.G	○			○	○	○	○									20	20	25	23									88
Y.Y			○	○	○	○	○	○	○							20	18	22	24	26	23							133
M.M		○		○	○	○	○	○	○	○	○					20	24	25	24	26	24	28	18					189
M.S	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	15	18	17	18	20	12	25	20	21	21	20	219
T.I	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○				18	15	14	18	20	23	23	22	21				174
K.Y		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		25	26	25	25	24	23	24	25	23	23	22		265
M.O	○			○	○	○	○	○	○	○	○					20	20	18	17	18	20	22	25					160
O.A		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	25	28	23	25	28	26	28	32	32	30	30	327
S.S	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			12	12	18	16	20	27	21	20	18	16			180
合計	8	5	1	13	13	14	14	13	13	12	11	8	7	6	5	243	262	299	295	288	292	268	251	178	158	132	112	2,778

該当する障害福祉サービスの実績のみ入れる。（この例では重度訪問介護の実績を入れ、居宅介護、行動援護、介護保険の訪問介護の実績は入れていない）

※1 「障害支援区分」「訪問実績（実施有無）」には、該当する欄に○印を付すこと。
※2 「サービス提供時間数(延べ時間)」には、各月におけるサービス提供実績時間を入力（1時間単位であり、30分の場合は0.5とする。サービス提供実績報告書と同様の時間カウントとすること）
※3 「訪問実績（実施有無）」及び「サービス提供時間数(延べ時間)」には、該当するサービスのみ計上すること（例：重度訪問介護を算定する場合において、居宅介護、行動援護、介護保険等

障害支援区分5以上の者と訪問実績（実施有無）を対比し、該当者数をカウント
（この事例では緑のセル）

①又は②のいずれかの算定方法により要件を満たせば足りる

① 実人数による算定を採用する場合

総訪問人数	1月目（4月）	2月目（5月）	3月目（6月）	4月目（7月）	5月目（8月）	6月目（9月）	7月目（10月）	8月目（11月）	9月目（12月）	10月目（1月）	11月目（2月）	3月分はカウントしない	合計	区分5以上の割合
	13	13	14	14	13	13	12	11	8	7	6		124	
区分5以上の者	5	6	6	6	6	6	5	5	3	3	3		54	43.5%

非該当

※ 「総訪問人数」は自動計算、「区分5以上」の者は入力すること。

注意：重度訪問介護は50%以上が要件です

障害支援区分5以上の者とサービス提供時間数を対比し、サービス提供時間数をカウント
（この事例では黄色のセルの数字を月別に合算する）

② サービス提供時間数(延べ時間)による算定を採用する場合

サービス提供時間数	1月目（4月）	2月目（5月）	3月目（6月）	4月目（7月）	5月目（8月）	6月目（9月）	7月目（10月）	8月目（11月）	9月目（12月）	10月目（1月）	11月目（2月）	3月分はカウントしない	合計	区分5以上の割合
	243	262	299	295	288	292	268	251	178	158	132		2,666	
区分5以上の者	109	148	151	147	154	149	133	123	80	83	72		1349	50.6%

※ 「総訪問回数」は自動計算、「区分5以上」の者は入力すること。

該当

※ 区分5以上の割合の算定上は、3月分の実績は除いて計算する（H21.3.12国Q＆A

※1①又は②で算定した方法により、いずれかが区分5以上の割合が50%（重度訪問介護）を超えた場合に要件を満たすものであること。
※2特定の月の区分5以上の割合が50%（重度訪問介護）を下回ったとしても、1年の平均がこれを超えていれば要件を満たすものであること。
※3特定事業所加算適用後は、各年において割合を満たすか常時確認すること（要件を欠いた時点で加算の適用はない）

（参考様式）

特定事業所加算（Ⅰ）・（Ⅲ）に係る障害支援区分5以上の占める割合の算定方法（重度訪問介護用）

事業所名	○○訪問介護事業所
障害福祉サービス名	重度訪問介護

3ヶ月用

サービス提供時間数であること（居宅介護のような訪問回数ではないことに注意）

報酬区分	特定事業所加算（Ⅲ）

該当する連続する3ヶ月の月を入れること

※ いずれかを○で囲む

区分5以上にカウントができる

利用者氏名（イニシャル）	障害支援区分			訪問実績（実施有無）			サービス提供時間数（延べ時間）			サービス提供実績合計
	区分4	区分5	区分6	1月目（1月）	2月目（2月）	3月目（3月）	1月目（1月）	2月目（2月）	3月目（3月）	
T.O	○			○	○		13	9		22
Y.T		○		○	○	○	13	12	13	38
K.O	○			○		○	10		6	16
S.T		○			○	○	23	24	36	83
K.F	○			○			23	28		51
K.G	○			○	○	○	23	28	25	76
Y.Y			○	○	○	○	20	20	19	59
M.M		○		○	○	○	18	12	8	38
M.S	○			○	○		23	25		48
合計	5	3	1	8	8	6	166	158	107	431

区分5以上にカウントができる

該当する障害福祉サービスの実績のみ入れる。（この例では重度訪問介護の実績を入れ、居宅介護、行動援護、介護保険の訪問介護の実績は入れていない）

※1 「障害支援区分」「訪問実績（実施有無）」には、該当する欄に○印を付すこと。

※2 「サービス提供時間数(延べ時間)」には、各月におけるサービス提供実績時間を入力（1時間単位であり、30 書と同様の時間

※3 「訪問実績（実施有無）」及び「サービス提供時間数(延べ時間)」には、該当するサービスのみ計上すること（例：重度訪問介護を算定す 数は含めない）

※4 「訪問実績（実施有無）」「サービス提供時間数(延べ時間)」の（ 月）には、該当する月を入れる。なお、連続

障害支援区分5以上の者と訪問実績（実施有無）を対比し、該当者数をカウント（この事例では緑のセル）

① 実人数による算定を採用する場合

総訪問人数	1月目（1月）	2月目（2月）	3月目（3月）	合計
	8	8	6	22

※自動算定

区分5以上の者	1月目（1月）	2月目（2月）	3月目（3月）	合計	区分5以上の割合
	3	4	4	11	50.0%

※入力すること。

注意：重度訪問介護は50%以上が要件です

② サービス提供時間数(延べ時間)による算定を採用する場合

サービス提供時間数	1月目（1月）	2月目（2月）	3月目（3月）	合計
	166	158	107	431

※自動算定

区分5以上の者	1月目（1月）	2月目（2月）	3月目（3月）	合計	区分5以上の割合
	74	68	76	218	50.6%

※入力すること。

障害支援区分5以上の者とサービス提供時間数を対比し、サービス提供時間数をカウント（この事例では黄色のセルの数字を月別に合算する）

この事例では①・②ともいずれも満たすが、①又は②のいずれかの算定方法により要件を満たせば足りる

※1①又は②で算定 訪問 と。

※2特定の月の区分 ケ月 あること。

※3特定事業所加算 要件